

級長の願い

小林多喜二

青空文庫

先生。

私は今日から休ませてもらいます。みんながイジめるし、馬鹿にするし、じゅ業料もおさめられないし、それに前から出すことにしてあつた戦争のお金も出せないからです。先生も知つていのように、私は誰よりもウンと勉強して偉くなりたいと思つていましたが、吉本さんや平賀さんまで、戦争のお金も出さないようなものはモウ友だちにはしてやらないと云うんです。——吉本さんや平賀さんまで遊んでくれなかつたら、学校はじごくみたいなのです。

先生。私はどんなに戦争のお金を出したいと思つてるか分りま

せん。しかし、私のうちにはお金は一銭も無いんです。お父さんはモウ六カ月も仕事がなくて、姉も妹もロクロクごはんがたべられなくて、だんだん首がほそくなって、泣いてばかりいます。私が学校から帰えって行くたびに、うちの中がガラランガランとかわってゆくのです。それなのに、お父さんにお金のことなんか云えますか。でも、みんなが、み国のためだというのでこの前、ほんとうに思い切って、お父さんに話してみました。そしたら、お父さんはしばらく考えていましたが、とツてもこわい顔をして、み国のためッてどういう事だか、先生にきいてこいと云うんです。後で、男のお父さんが涙をポロポロこぼして、あしたからコジキをしなければ、モウ食って行けなくなつた、それに私もつれて行

くツて云うんです。

先生。

お父さんはねるときに、今戦争に使つてるだけのお金があれば、日本中のお父さんみたいな人たちをゆつくりたべさせることが出来るんだと云いました。——先生はふだんから、貧乏な可哀相な人は助けてやらなければならぬし、人とけんかしてはいけないと云つていましたね。それなのに、どうして戦争はしてもいいんですか。

先生、お父さんが可哀そうですから、どうか一日も早く戦争なんかやめるようにして下さい。そしたら、お父さんやみんながらくになります。戦争が長くなればなるほどかゝりも多くなるし、

みんながモットくたべられなくなつて、日本もきつとロシアみたいになる、とお父さんが云つています。

先生。私は戦争のお金を出さなくてもいゝようにならなければ、みんなにいじめられますから、どうしても学校には行けません。お願いします。一日も早く戦争をやめさせて下さい。こゝの長屋ではモウ一月も仕事がなければ、みんなで役場へ出かけて行くと云つています。そうすれば、きっと日本もロシアみたいになります。

どうぞ、お願いします。

この手紙を、私のところへよく話しにくる或る小学教師が持つ

て来た。高等科一年の級長の書いたものだそうである。原文のままである。——私はこれを読んで、もう一息だと思った。然しこの級長はこれから打ち当って行く生活からその本当のことを知るだろうと考えた。

——一九三一・一二・一〇——

青空文庫情報

底本：「日本プロレタリア文学集・20 「戦旗」「ナツプ」作家
集（七）」新日本出版社

1985（昭和60）年3月25日初版

1989（平成元）年3月25日第4刷

底本の親本：「小林多喜二全集第3巻」新日本出版社

初出：「東京パック」

1932（昭和7）年2月号

入力：林 幸雄

校正：ちはる

2002年1月14日公開

2005年12月12日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

級長の願い

小林多喜二

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>